

企画展

徳川将軍家へ ようこそ



休館情報 | 江戸東京博物館 ホール等改修工事に
伴う休館のお知らせ

特集展示 | 「東海道五拾三次展」



企画展

徳川将軍家へ ようこそ

8月11日(金・祝)～9月24日(日)

関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康が、征夷大将軍の宣下を受け、江戸幕府を開いたのは1603年(慶長8)のことです。

来の資料の中から、歴代将軍ゆかりの品々を展示し、十五代にわたる将軍たちと徳川家のすがたをご紹介します。

(学芸員 小林愛恵)

家康は將軍職を2年で息子の秀忠に譲り、それ以降、將軍職は徳川家によって代々世襲されました。

この徳川将軍家を中心に幕府と諸藩が統治を行なった江戸時代は、戦いがほとんどない時代です。その260余年の歴史の中で、数々の匠の技は精緻を極め、見立てや遊び心などの多様な美意識が育まれ、生活様式や文化に大きな影響をもたらしました。

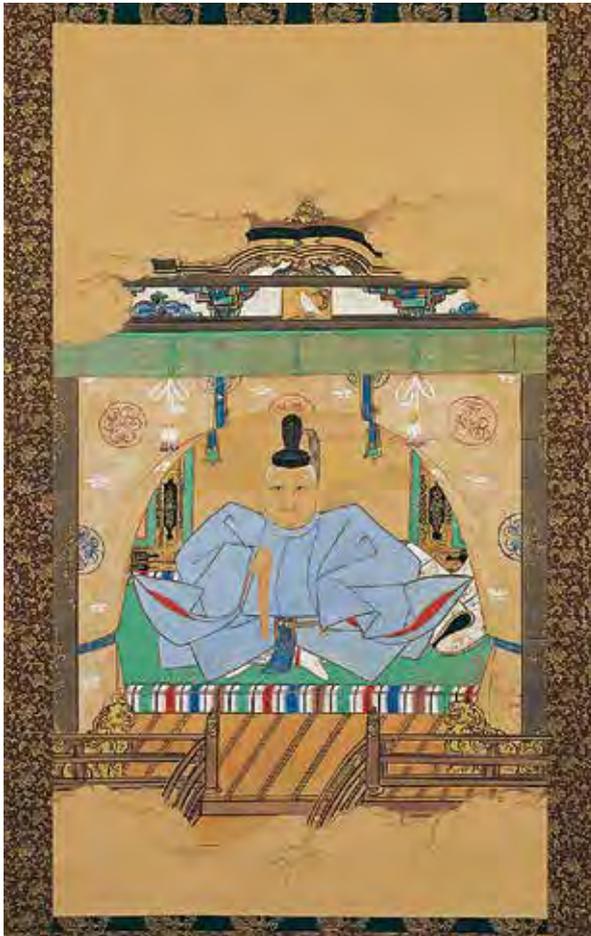


みどころ

銀細工 猷兔賜盃
徳川家斉所用 江戸時代18～19世紀
徳川記念財団蔵

みどころ

東照大権現霊夢像
狩野探幽筆
徳川記念財団蔵 【展示期間】9月5日(火)～24日(日)



みどころ

小袖 萌黄縞子地雪持笹御所車文様葵紋付
篤姫(天璋院)所用 江戸時代19世紀
徳川記念財団蔵 【展示期間】9月5日(火)～24日(日)



information

「徳川将軍家へようこそ」

開館時間: 9:30～17:30 土曜日は19:30まで
会場: 常設展示室内 5F企画展示室
8月11日、18日、25日の金曜日はサマーナイトミュージアムのため21:00まで開館。
※詳しくは本誌裏面のサマーナイトミュージアム情報をご覧ください。
入館は閉館の30分前まで。
休館日: 8月21日・28日、9月4日の月曜日
◎常設展観覧料でご覧になれます。 ◎会期中、一部展示替えがあります。
主催: 東京都、東京都江戸東京博物館、公益財団法人徳川記念財団

江戸東京博物館休館のお知らせ

ホール等
改修工事

平成29年10月1日から30年3月31日(予定) *特別展示室、ホール・会議室・学習室は平成29年9月1日から31年3月31日まで休室

江戸東京博物館は、平成29年10月1日(日)から平成30年3月31日(土)まで、ホール等改修工事のため全館休館を予定しております。

常設展示室(5階・6階)及び図書室(7階)は、平成30年4月1日(日)から開室する予定です。

特別展示室(1階)及び貸出施設(1階・ホール・楽屋・会議室・学習室)の再開は、平成31年4月以降の予定です。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

平成30年度の団体来館予約

1月10日(水)から受付を開始します。申込み方法等は従来と同じです。詳細は当館ホームページをご覧ください。



		2017年(平成29) 9月	2018年(平成30) 4月	2019年(平成31) 4月	
常設展示室(5階・6階) 図書室(7階)		開室	開室	全館 オープン	
特別展示室(1階)		休室	休室		
1階貸出施設	ホール・楽屋	貸出休止	貸出休止		
	会議室・学習室1・2	貸出	貸出休止		

9月30日(土)は江戸博 感謝の日

みんな来てね!



江戸東京博物館公式キャラクター ギボちゃん

お客様に感謝の気持ちを込めて、
常設展観覧料が無料に!
えどはくグッズプレゼント、ギボちゃんの握手会・撮影会を開催!
その他催し物も予定しております。
休館前にぜひご来館ください!
*詳しくは当館ホームページをご覧ください。

平成29年10月からのえどはくカルチャーについて

「えどはくカルチャー」は当館の学芸員や研究員、外部講師による江戸東京の歴史や文化をテーマにした講座です。平成29年10月以降は、江戸東京博物館以外の施設での講座や史跡散歩などを予定しています。詳細が決まりましたら、当館ホームページなどでご案内します。引き続き、「えどはくカルチャー」をよろしくお願いいたします。



特集展示 「東海道五拾三次展」

7月25日(火)～8月27日(日)

5階常設展示室

「資料展示コーナー」

E8 江戸の美(浮世絵の世界、装いとかざり)

E6 江戸の四季と盛り場(庶民の旅と折り)

「体験展示コーナー」

ミュージアム・ラボ



「東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景」歌川広重 画
天保(1830～1844)中期 資料番号:08100001



「東海道五拾三次之内 荒井 渡舟ノ図」歌川広重 画
天保(1830～1844)中期 資料番号:08100032



藍木綿地腰替竹雀文様駕籠昇着(帯付)
江戸時代後期 資料番号:86213009・86213010



「新板 道中すぢ六」歌川芳員 画
江戸時代末期 資料番号:91200776

日頃の生活を離れ、旅行やレジャーを楽しむ人が多い夏のシーズンにあわせ、江戸の旅をテーマにした特集展示を開催中です。

江戸中期以降、旅は庶民の間でも流行し、伊勢参りや登山などを老若男女を問わず楽しむようになりました。この時代の日本の旅風景で思い起こすのは、歌川広重(1797～1858)画の保永堂版「東海道五拾三次」の場面、という人は多いのではないのでしょうか。

また、東海道五十三次をテーマにした印刷物は、江戸時代から現代に至るまで、様々な形で出版され親しまれています。

また、東海道五十三次に関する巨大双六やパズルを設置しています。また、展示を見ながら答えを考える特集展示限定のワークシートも用意しています。江戸時代の東海道の旅を体感しながらお楽しみください。(学芸員 西村直子)

「東海道五拾三次」は、東海道の53の宿場をテーマに、出発地・江戸の日本橋と、到着地・京都の三條大橋を加えた全部で55枚揃いの風景画です。東海道を描いた浮世絵版画は数多く出版されましたが、なかでも1833年(天保4)に版行が始まったこのシリーズは、最も完成度が高く人気があったものです。今回は、この中から主要な18点を展示しています。

また、東海道五拾三次は、東海道の53の宿場をテーマに、出発地・江戸の日本橋と、到着地・京都の三條大橋を加えた全部で55枚揃いの風景画です。東海道を描いた浮世絵版画は数多く出版されましたが、なかでも1833年(天保4)に版行が始まったこのシリーズは、最も完成度が高く人気があったものです。今回は、この中から主要な18点を展示しています。

TOPICS 1

ワークショップ
「さわってみよう! 昔の道具」に
新たなプログラムが登場!



蓄音機のワークショップ:9月21日(木)



甲冑(複製)のワークショップ:9月14日(木)、28日(木)
*写真はイメージです

毎週木曜日の13時30分から14時30分、常設展示室5階ミュージアム・ラボで、学芸員が昔の道具を紹介し、お客様に体験いただくワーク

ショップ「さわってみよう! 昔の道具」を実施しています。平成28年1月から行っている「黒電話、プッシュホン」、「火のし、炭火アイロン、電気アイロン」のプログラムに、「蓄音機」、「甲冑(複製)」が加わります。

「蓄音機」は、手回し蓄音機でSPレコードを聴いていただき、「甲冑」では体験用に制作した甲冑の部品を実際に手にとっていただくことができます。どうぞお気軽にご参加ください。

TOPICS 2

9月、夢からくり一座が
やってくる!

毎年、「えどはくでお正月」の恒例催事としてご好評をいただいております「夢からくり一座」の公演を、今年度は9月に開催いたします。

文字書き人形、弓射り人形、茶運び人形など、江戸時代から受け継がれたからくりの技術の粋をエンタテインメントとして体感し、そのメカニズムについて学べます。ぜひ、お越しください。



「夢からくり一座」江戸博公演

information

「夢からくり一座」江戸博公演

出演者:夢からくり一座

日時:9月15日(金)~18日(火・祝)

①11:00-11:45 ②13:00-13:45 ③15:00-15:45

場所:常設展示室5階 中村座前(常設展観覧料が必要)

常設展ボランティアガイドの予約について

9月までの予約は、ご来館日の2週間前まで通常どおり承ります。平成29年度最終開館日9月30日(土)の予約は、9月15日(金)が締切となります。平成30年4月の予約は、3月9日(金)に受付を開始いたします。予約方法については、当館ホームページ「展示ガイドボランティアの事前予約方法」(<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/information/guide/#anc03>)をご覧ください。

「展示して見せる」博物館の源流をたどる。

学芸員
田中裕二・文

今 回紹介するのは、江戸から明治へ移り変わり、店員が客に商品を手渡しで見せる座売りと呼ばれた手法から、陳列して商品を見せるという手法へ変わっていく、まさに過渡期を表す象徴的な史料である(図版1)。時代は1896年(明治29)、ま

ずここで注目していただきたいのは、客の求めに応じて商品を取り出して販売する、対面形式による「座売り」の光景であり、下の図に描かれている。一方、上の図はあらかじめ展示された商品を客が自由に見て回る「陳列販売方式」。座売りと陳列販売方式の

新旧の販売方法が併存していた店内を示す。

江戸時代から続く対面形式から、陳列方式へと変化していったのは、その方が多くの商品を多くの客に見てもらうことができるからであった。この陳列ケースに入れて何かを見せるという手法は、1872年(明治5)文部省博物館主催の湯島聖堂で行われた博覧会で本格的に行われており、この頃からケースの中に展示されたものを見るところという行為が次第に定着していった。

さて、時代は下り1910年(明治43)。三越で開催された美術工芸品展覧会陳列場を写した絵葉書をご覧いただきたい(図版2)。ここでは額縁に入れて展示されている作品もあるが、基本的に展示ケースに入れたものを観覧者が見て回るというスタイルが取られていたことが



図版2 三越美術工芸品展覧会陳列場
資料番号:88107184

わかる。この二つの史料を通じてケースに展示物を入れて物を見るところという現在では当たり前の行為が、明治初年から明治末年にかけて、次第に浸透していった様子が見てとれる。



図版1 三井呉服店陳列場の図 三井呉服店店先の図
資料番号:87102519



図書室から お知らせ

和綴じ本を つくってみよう！

巻子本、折本、胡蝶装、大和綴じ……日本の伝統的な書物の装丁には様々な形がありますが、「和装本」といえば二つ折りにした本文紙を表紙とともに糸で綴じる「袋綴じ」。なかでも、もつともポピュラーな綴じ方である「四つ目綴じ」を思い浮かべる方が多くいらつしやることでしょう。

「袋綴じ」は中国の「線装本」が日本に伝わったもので、室町時代頃から装本の主流となりました。薄くしなやかな和紙に刷られた本文をまとめるには、とても合理的な製本方法であり、壊れたときの補修も容易な「袋綴じ」の書物。江戸時代には隆盛を極め、版本の9割以上がこの形で刊行されています。



7階図書室では、「和装本や製本がわかる本」を特集し、併せて「袋綴じ（四つ目綴じ）」製本手順の一例を製本道具とともに展示します。和綴じでお気に入りの一冊を仕立ててみてはいかがでしょうか。

「夏休み！こども歴史学習相談」 7月15日(土)から9月3日(日) まで開催中

図書室では、自由研究に役立つ江戸東京の歴史と文化に関する本を取り揃えています。

江戸時代に人気を博した「レシピ集」にある料理を再現してみてもいかがでしょうか。手間をかけたものから簡単に作れる家庭料理まで、食欲をそそる料理がいっぱい！ 材料や作り方も丁寧に解説されています。江戸時代の料理を作って、当時の人々の暮らしを体験してみましょう。

他にも、「江戸時代の男女の平均身長は？」など、みなさんの様々な疑問を解決できるような本をご紹介します。夏休みの学習に、ぜひ図書室をご活用ください。



『再現江戸時代料理 食養生講釈付』小学館 1993年、『料理百珍集』八坂書房 2009年、『江戸のおかず帖 美味百二十選』女子栄養大学出版社 2004年、『江戸から伝わる味をたずねて』池田書店 2015年

場所 7階図書室 開室時間 9:30~17:30

閲覧・複写請求受付時間 9:30~11:30/13:00~16:30

※図書室の利用は無料です(複写は有料)。貸出は行っていません。

※質問者の代わりに調べる、解答することはできません。

ミュージアム ショップ

こども向けガイドブック を販売中です

博物館は何のためにあるのでしょうか？博物館で働く学芸員はどんな仕事をしているのでしょうか？

常設展示のみどころから、意外と知らない休館日のメンテナンスの様子まで、江戸東京博物館の活動をまとめたガイドブック『探検！体験！江戸東京博物館』をミュージアムショップで販売しています。大人の方にも読みごたえ十分です。ぜひご覧ください。

【おもな内容】

東京都江戸東京博物館って
どんなところ？

学芸員の仕事

- ① 資料を集める、保つ
- ②-1 歴史や文化を伝える
— 常設展示
- ②-2 歴史や文化を伝える
— 企画展・特別展
- ③ 博物館の活動を広める
- ④ 知識を深める

博物館をささえる仕事

【価格】

545円(税込)



武蔵野の歴史と民俗(仮称)

会期:平成29年9月26日(火)～
平成30年3月4日(日)
会場:江戸東京たてもの園展示室



武蔵野郷土館の展示室として使われていた、ビジターセンター(旧光華殿)

江戸東京たてもの園の敷地には、1954年(昭和29)から1991年(平成3)まで、原始・古代から近・現代に至る武蔵野のあゆみをテーマにした博物館、「武蔵野郷土館」がありました。1993年(平成5)、江戸東京博物館分館として新たに開園した当園は、武蔵野郷土館より貴重な資料を引き継ぎ、整理・保存をすすめるながら、公開してきました。今回の展覧会では、旧武蔵野郷土館資料の考古資料及び民具や郷土玩具などの生活民俗資料をご覧いただきます。同時に、同館の前身で井の頭自然文化園内に所在していた「武蔵野博物館」から武蔵野郷土館、そして江戸東京たてもの園へと至る博物館の系譜をご紹介します。

旧武蔵野郷土館資料のご紹介



武蔵野郷土館の展示室の様子

サマーナイトミュージアム

平成29年7月21日～8月25日の毎週金曜日

開館時間を21:00まで延長! 夜の催し物や、その他特典も!

対象となる展覧会、ショップ等

2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」
特別展 戦国!井伊直虎から直政へ

会期:7月4日(火)～8月6日(日)
場所:1階特別展示室



常設展

場所:常設展示室5階・6階

企画展「徳川将軍家へようこそ」

会期:8月11日(金・祝)～9月24日(日)
場所:常設展示室内 5F企画展示室

特集展示「東海道五拾三次展」

会期:7月25日(火)～8月27日(日)
場所:常設展示室5階 江戸ゾーン「江戸の美」・
「庶民の旅と祈り」



期間中の催し物、特典等

- 21時まで特別開館 *入館は閉館の30分前まで
日時:8月4日(金)
- フライデー・ナイトトーク
日時:8月4日(金) 18:00～ 学芸員による展覧会の解説を行います。(30分程度)
*特別展観覧券が必要です。
- 21時まで特別開館 *入館は閉館の30分前まで
日時:7月21日～8月25日の金曜日
17:30以後入場の学生(中高生含む)は学生証の提示により無料、一般・65歳以上は団体料金(2割引)(要証明)
- えどはく寄席(ひまわり寄席)
日時:7月21日～8月25日の金曜日 いずれも18:30～19:15
邦楽ワークショップ、落語による怪談を行います。
- トークセッション「いとうせいこう イン えどはく」
日時:8月18日(金) 19:30～20:30
江戸博とゆかりのあるいとうせいこうさんが江戸東京の園芸について研究者、学芸員と話し合います。

「緑茶処 両国茶ら良」

- 観覧券の提示で、会計5%OFF
日時:7月21日(金)～8月25日(金)の金曜日 17:30以降来店、21:00まで営業

「フィンズカフェ&レストラン」

- 観覧券の提示で、会計5%OFF
日時:7月21日(金)～8月25日(金)の金曜日 17:30以降来店、19:00まで営業

「和食処 桜茶寮」

- 観覧券の提示で、会計10%OFF
日時:7月21日(金)～8月25日(金)の金曜日 17:30以降来店、19:00まで営業

江戸東京博物館 NEWS Vol.99

お問い合わせ 03-3626-9974(代表)

ホームページ <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

来館のご案内 JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分
都営地下鉄大江戸線「両国駅(江戸東京博物館前)」A3・A4出口から徒歩1分
都バス錦27・両28・門33系統 墨田区内循環バス南部ルート「都営両国駅前
(江戸東京博物館前)」下車、徒歩3分

発行日 2017年(平成29)8月1日(火)

編集・発行 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-4-1

制作・印刷 美術出版社 デザインセンター

表紙解説



徳川慶喜像
川村清雄画 明治時代19世紀
徳川記念財団蔵

旧幕臣である川村清雄(1852～1934)によって描かれた、油彩画の15代将軍徳川慶喜像。1871年(明治4)に徳川家派遣留学生として米国に渡った川村は、その後欧州で本格的に油彩画の技法を学び、帰国して西洋画と日本画を融合させた独自の画風を確立した。本画は、将軍であったときに撮影された慶喜の写真を参考に描かれている。



銀細工 猷兔賜盃
徳川家斉所用 江戸時代18～19世紀
徳川記念財団蔵

11代徳川家斉が復活させた徳川将軍の年始の儀式、猷兔賜盃で献上される兔がモチーフ。